

広報さとる



発行日:2026年4月23日(NO.045) 発行所:トヨタ自動車労働組合
発行人:飯田智士 編集人:井出さとる 印刷所:(株)トヨタエンタプライズ

令和8年 2月定例会 を終えて

～「日本一幸せな裾野市」への飛躍!2期目のスタートと未来への投資～
こんにちは!市議会議員の井出さとるです。少しずつ春の訪れを感じる季節になりました。裾野市も、大きな転換期を迎えています。今回の2月定例会は、これまでの「財政再建」から、いよいよ未来へ向けた「飛躍」の予算審議が行われました。皆さんの暮らしに直結する、興味深いトピックをギュッとまとめてご報告します!

裾野市、いよいよ「攻め」のフェーズへ!

かつて発出されていた「財政非常事態宣言」が令和7年2月に解除され、裾野市は今、未来への投資が可能になりました。

今回の予算規模は、一般会計・特別会計合わせて387億3,146万8,000円(前年比4.0%増)。「稼ぐ財政」への転換を目指し、ふるさと納税の強化や企業誘致にも力を注ぎます。

子どもたちの未来をつくる「学校再編」

教育費が前年比24.6%増と大幅にアップ!これは主に施設改修によるものですが、濃い中身となっています。

- **富岡第二小と富岡第一小の統合:** 令和9年の統合に向け、富岡二小の閉校準備が進みます。
- **東中学校の移転・リニューアル:** 旧向田小への移転工事や、防災力強化のための体育館空調整備も計画!
- **給食費の無償化継続:** 物価高に負けず、子育て世帯をサポートします。

富中リニューアル工事基本設計 35,236千円



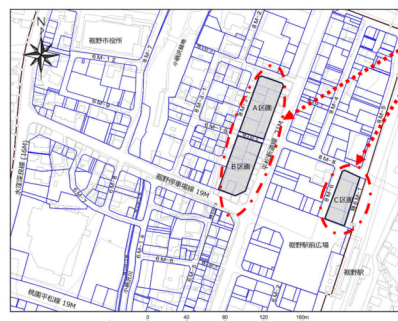
東中転用工事 430,264千円



暮らしを便利に「道の駅」と「スマートIC」

私がずっと提言し続けてきた「道の駅」の整備や、新東名へのスマートIC設置も本格的に目指していくことが示されました。

- **裾野駅西口の賑わい:** 空き店舗を活用したりノベーション事業や、にぎわい拠点施設の整備が加速します。



賑わい街区

賑わい街区はR8使用収益開始に向けて造成中



さとるの「ひとこと」

今回の予算審議を通じて感じたのは、組織のカタチも大きく変わるとのこと。「デジタル部」を「総務部」へ、「産業振興部」を「地域経済部」へと再編し、より戦略的に動ける体制になります。

でも、一番大切なのは「市民の皆さんの窓口で混乱が起きないこと」!次回のレポートでは、新しくなった組織の「中身」についても詳しくお伝えします!今回の報告内容について、もっと詳しく知りたい方や、「ここを調べてほしい!」というご意見があれば、いつでも井出さとるまでお寄せください!



現場のギモンに直撃! 各委員会のレポート

議会では、4つの「分科会」に分かれて、予算の使い道を細かくチェックしました。

総務:市役所の「中身」をアップデート!

- デジタル部の引越し:これまで独立していた「デジタル部」が「総務部」へ統合されます。DX(デジタルトランスフォーメーション)を特別なことではなく、全庁的な当たり前にするための前向きな統合です。
- 郵便局でマイナンバー手続き:令和8年10月1日を目途に、市内6局の郵便局でマイナンバーカードの新規交付などができるよう、専用パソコンや顔認証機器を設置します。

厚生文教:健やかな暮らしと学び

- 補聴器の購入支援:高齢者の皆さんが閉じこもらず会話を楽しめるよう、新たに補聴器の購入費助成が始まります。
- スクールロイヤーの導入:学校現場で法的なトラブルが起きた際、先生たちが安心して教育に専念できるよう、弁護士さんのアドバイスを受けられる体制を整えます。

産業建設水道:未来の裾野を創る

- リノベーションスクールの開講:裾野駅周辺の空き店舗などを活用して、民間主導で新しいお店や賑わいを作る「リノベーションまちづくり」を後押しします。
- J-クレジットで森を守る:森林整備で削減した二酸化炭素を価値に変え、その収益を森林整備に還元する新しい取り組みが始まります。

ここがポイント!議会での熱い議論

委員会での審査では、皆さんの「それ、どうなるの?」という疑問に迫りました。

- ゴミの持ち込みが有料化(10月1日~)ゴミ減量と資源化のために一部有料化が決まりました。皆さんの声を反映し、当初より負担を抑える工夫もされています。
- 郵便局でマイナンバー手続き:市役所に行かなくても、市内の郵便局でカードの更新などができるようになります(10月頃予定)
- 災害時、市外の水道屋さんも助けられる:能登半島地震の教訓から、災害時に他市の指定業者も修理ができるよう改正しました。

連合静岡沼三地協との「対話」を大切に

働く仲間の声を市政に届けるのも、私の大切な役目です。先日、連合静岡の沼三地協から提出された行政要望に対し、村田市長から回答書が手渡されました。意見交換では、裾野市が「日本一市民目線の市役所」を目指し、窓口改革(フロントヤード改革)を全国に先駆けて進めていることが紹介されました。

井出さとも「働く人が定住しやすく、子育てしながら希望が持てるまち」の実現に向けて、引き続き行政と連携を密にしていきます!

編集後記

今回の定例会では、私が初当選以来ずっと訴えてきた「道の駅」の整備や「スマートIC」の設置に向けた事業が、市長の施政方針に力強く盛り込まれました。財政再建を乗り越え、ようやく「未来への投資」を語れるステージに立てたのだと、身が引き締まる思いです。

学校の統合やごみの有料化など、生活に大きな変化が訪れる時こそ、私たち議員が市民の皆さんの不安をしっかりと受け止め、橋渡しをしなければなりません。

組織が変わっても、建物が変わっても、皆さんの「笑顔」が一番。そんな裾野市を目指して与えられた残りの期間、全力で駆け抜けます!



須山地先:ミツマタ群生地